

名古屋市CM広報（ハザードマップ）の制作及び放映業務委託に係る企画コンペ
質問及び回答一覧（R8.7.15現在）

	項目	内容	回答
1	ターゲットの詳細について	今回ハザードマップの活用促進について発信におけるターゲット（年代）がありましたら教えてください。	全年齢が対象ですが、特に定めるのであれば防災行動の実施主体となる大人や高齢者が中心と考えております。
2	防災アプリの利用年代について	名古屋市防災アプリの利用者の年代別属性と今後利用を促したい年代がありましたら教えてください。	現状での年代別属性について本市では情報を把握しておりません。今後利用を促したい年代については広く全年齢を対象と考えております。
3	ハザードマップに使われている素材の使用について	なごやハザードマップの表紙に使われている以下の素材は今回のCMで使用可能かどうか教えてください。 ①文字組（なごやハザードマップ※コアラや鯨、塔が描かれているもの） ②防災啓発キャラクター	原則使用可能です。改変等がある場合には、程度によりますが不可となる場合があります。詳細は協議の上決定とします。
4	追加提案・SNSを使用した広報についての想定	SNSの使用した広報を提案するにあたり名古屋市で既にお持ちのアカウント（例：名古屋広報課 見つけてなごや など）を使用されることは想定していますでしょうか。	制作したCMの周知として、広報課所管のSNSアカウント（X、Instagram、YouTube等）の使用は想定していますが、追加提案については想定していません。
5	仕様書（案）、6 追加提案について	昨年度実施した追加提案の内容についてご教授をお願いいたします。 （1）SNS広告（2）その他のインターネット広告、それぞれの内容をご教授ください。	令和7年度は、Tver広告、ABEMA TV広告、YouTube広告、Instagram広告、LINE広告の追加提案があり、実施しました。
6	仕様書（案）、5 CM放送（2）放送期間	放送期間、令和9年1月5日（火）から令和9年1月11日（月）の意図がありましたらご教授をお願いいたします。	能登半島地震（令和6年1月1日）と阪神淡路大震災（平成7年1月17年）の間にあたり防災意識が高まる時期であり、また正月明け～成人の日は比較的家族でテレビを観る機会が多い時期と考えられるためです。6月配布後に保管していたハザードマップを今一度確認し、災害リスクについて家族で話し合ったり備えたりする機会にしたいと考えています。 なお、期間設定の意図については前述のとおりですが、CMについては地震災害に限らず洪水や内水氾濫等も含めたハザードマップ全般の広報を想定しています。